

(様式2)

令和7年度 県立高校指定校事業(令和7年度指定)単年度計画書

学 校 名	神奈川総合 高等学校 (全・定・通)	校 長 名	井野 雄二
指 定 名	グローバル教育研究推進校	年 度	令和7年度
研究主題	多文化・多様性・多視点を踏まえ、テクノロジーを活用して社会とつながりながら、課題を協働的に発見・解決し、豊かに表現できるグローバルリーダーの育成を図る。		
本年度の研究内容	<div>(1)本年度の目標 ICT 機器・生成 AI を活用した、探究活動を通して生徒の広い視野を涵養し、多角的に考えられる学びの導入。</div> <div>(2)目標実現のための具体的な手立て ① 探究的な学びを通じた資質・能力の育成<ul style="list-style-type: none"><li>各教科や探究活動において、ICT ツールや生成 AI を活用した探究的な授業作りの実践。「問いの設定」「情報収集」「可視化・整理」「他者との協働」を重視した授業構成</li><li>テーマ学習・研究（総合的な探究の時間）で生徒が設定したテーマについてプレゼンテーションや論文発表の実施を年に1回以上実施</li><li>全教科で、ペアワークやグループワークの実践、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション等の実施と効果検証</li></ul>② ICT・生成 AI の活用による学びの高度化<ul style="list-style-type: none"><li>全教科で ICT・生成 AI を使った授業実践</li><li>情報科および探究の時間で、生成 AI の活用とリスク理解のためのリテラシー教育の実施</li><li>教員中堅研修や外国語科の AI 事業との連携を活用した、授業実践事例の共有およびモデル授業の展開</li></ul>③ 国際交流・協働的学習の推進<ul style="list-style-type: none"><li>国際交流活動や講演会で、他者の考えに触れる機会を持つ。</li><li>ワールドカフェで、生徒が国際課題からテーマを設定し、他校の生徒と討論する。</li><li>交流校とのオンライン交流の実施</li><li>海外経験が豊富な講師や専門性の高い講師による講演会の実施</li><li>地域住民や関係団体と連携した体験活動や学習活動を年2回以上実施</li><li>留学生の受入れ</li></ul>④ 進路指導との連携<ul style="list-style-type: none"><li>年2回以上の進路別ガイダンスや卒業生との交流事業の開催</li><li>生徒がテーマを自分で決定し探究したものの発表する機会を設定</li></ul></div> <div>(3)成果の検証方法及び取組指標 ① 探究的な学び：① 探究的な学びを通じた資質・能力の育成<ul style="list-style-type: none"><li>「授業評価アンケート」の(7)「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自ら考えを広げ深めることが出来た。」(8)「授業で得た知識を元に、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。」と感じる生徒の割合が昨年度よりも向上することを目標とする。</li><li>「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」の「主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力等を高めることが出来たと思う高校生の割合」について、肯定的な回答の割合が80%以上であること。また、「4. かなり当てはまる」の割合が昨年度よりも向上することを目標とする。</li></ul>② ICT・生成 AI 等を活用した学びの高度化<ul style="list-style-type: none"><li>ICT・生成 AI ツールを活用したプレゼンテーション・発表活動の実施率80%以上</li><li>職員研修を年2回以上実施する。</li><li>職員アンケート</li></ul>③ 国際理解・協働的学習・活動の推進<ul style="list-style-type: none"><li>講演会の実施を年2回以上とする。</li><li>国際交流活動に携わった生徒参加人数の把握。</li></ul></div>		

	<div>・生徒振り返りアンケート</div> <div>④ ①～③を踏まえた進路指導</div> <div>・全学年でテーマ設定と成果発表を1回以上実施。</div> <div>・生徒向け・保護者向け説明会を実施。</div> <div>・卒業生徒の交流の実施。</div> <div>・進路別ガイダンスの生徒人数の把握。</div> <div>◆取組指標</div> <div>※令和7年度について、目標値を記載してください。</div> <div>授業評価アンケート</div> <table><tr><td colspan="4">「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、 自らの考えを広げ深めることが出来た。」</td></tr><tr><td>回答</td><td>令和7年度 (目標)</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>4. かなり当てはまる</td><td>62%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>3. ほぼ当てはまる</td><td>35%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>2. あまりあてはまらない</td><td>3%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>1. ほとんどあてはまらない</td><td>0%</td><td>%</td><td>%</td></tr></table> <table><tr><td colspan="4">「授業で得た知識を元に、自分の考えをまとめたり、 課題の解決方法を考えたりすることができた」</td></tr><tr><td>回答</td><td>令和7年度 (目標)</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>4. かなり当てはまる</td><td>58%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>3. ほぼ当てはまる</td><td>38%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>2. あまりあてはまらない</td><td>4%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>1. ほとんどあてはまらない</td><td>0%</td><td>%</td><td>%</td></tr></table> <div>魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート</div> <table><tr><td colspan="4">「主体的な学習活動を通じて、 思考力・判断力・表現力等を高めることが出来たと思う高校生の割合」</td></tr><tr><td>回答</td><td>令和7年度 (目標)</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>4. そう思う</td><td>69%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>3. どちらかといえばそう思う</td><td>30%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>2. どちらかといえば満足していない</td><td>1%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>1. ほとんどあてはまらない</td><td>0%</td><td>%</td><td>%</td></tr></table>	「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、 自らの考えを広げ深めることが出来た。」				回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度	4. かなり当てはまる	62%	%	%	3. ほぼ当てはまる	35%	%	%	2. あまりあてはまらない	3%	%	%	1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%	「授業で得た知識を元に、自分の考えをまとめたり、 課題の解決方法を考えたりすることができた」				回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度	4. かなり当てはまる	58%	%	%	3. ほぼ当てはまる	38%	%	%	2. あまりあてはまらない	4%	%	%	1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%	「主体的な学習活動を通じて、 思考力・判断力・表現力等を高めることが出来たと思う高校生の割合」				回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度	4. そう思う	69%	%	%	3. どちらかといえばそう思う	30%	%	%	2. どちらかといえば満足していない	1%	%	%	1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%
「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、 自らの考えを広げ深めることが出来た。」																																																																									
回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度																																																																						
4. かなり当てはまる	62%	%	%																																																																						
3. ほぼ当てはまる	35%	%	%																																																																						
2. あまりあてはまらない	3%	%	%																																																																						
1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%																																																																						
「授業で得た知識を元に、自分の考えをまとめたり、 課題の解決方法を考えたりすることができた」																																																																									
回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度																																																																						
4. かなり当てはまる	58%	%	%																																																																						
3. ほぼ当てはまる	38%	%	%																																																																						
2. あまりあてはまらない	4%	%	%																																																																						
1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%																																																																						
「主体的な学習活動を通じて、 思考力・判断力・表現力等を高めることが出来たと思う高校生の割合」																																																																									
回答	令和7年度 (目標)	令和8年度	令和9年度																																																																						
4. そう思う	69%	%	%																																																																						
3. どちらかといえばそう思う	30%	%	%																																																																						
2. どちらかといえば満足していない	1%	%	%																																																																						
1. ほとんどあてはまらない	0%	%	%																																																																						
その他 特記事項	ワールドカフェ、パートナー校交流等の国際的行事について、持続可能なものにしていくために、国際情勢の趨勢に注視しつつ、運営方法や実施内容について検討していく。																																																																								